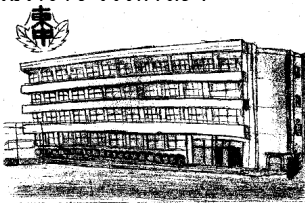


学校の沿革

昭和 59 年	1 月 31 日	屋内運動場竣工
昭和 59 年	2 月 18 日	校舎竣工式
	4 月 1 日	久居中学校から分離し久居東中学校となる
	4 月 5 日	開校式・第 1 回入学式
	8 月 15 日	プール完成
	8 月 31 日	更衣室棟完成
昭和 60 年	2 月 6 日	校歌完成
	2 月 13 日	校旗完成
	3 月 12 日	第 1 回卒業証書授与式
昭和 61 年	12 月 8 日	柔剣道場完成
平成 5 年	1 月 20 日	卓球場完成
	10 月 23 日	10 周年記念式典
平成 7 年	8 月 5 日	汚水槽全面改修完了
平成 8 年	3 月 28 日	本館西階段手摺取付・女子便所改良工事
	8 月 17 日	防球ネット・ソフトボールバックネット改修
平成 11 年	8 月 31 日	屋内運動場前駐車場工事完了
平成 13 年	3 月 31 日	プール東南屋外渡廊下完成
平成 15 年	10 月 4 日	20 周年記念式典
平成 18 年	1 月 1 日	市町村合併に伴い、津市立久居東中学校となる
平成 22 年	2 月 5 日	正門改良及び北フェンス、南フェンスの改修
	2 月 26 日	地上デジタルテレビ13台及び緊急地震速報装置設置
平成 23 年	9 月 5 日	学校給食開始
平成 25 年	9 月 30 日	校舎内全トイレ洋式化完成
平成 26 年	3 月 1 日	校舎増築・駐輪場増築完成
平成 28 年	1 月 15 日	武道場改修完了
平成 29 年	6 月	普通教室エアコン設置
令和元年	6 月	体育館事務室エアコン更新設置
令和2年	1 月	特別教室エアコン設置
令和3年	4 月	生徒一人一台タブレット端末配備
令和4年	9 月	職員室エアコン改修
	11 月	体育館照明 LED 化完了
令和6年	2 月	体育館バスケットゴール付替完了
	12 月	校舎防水工事完了

校歌

	兼田 敏 作曲	畑 利尚 作詞
1	野辺野の東光さし 清風渡る梨の園 若いいのちを輝かせ 高き理想を求めゆく ああわれら久居東中	3 伊勢の大地に緑なし 希望の泉みちあふれ 学びの庭におつまじく 共に未来を開きゆく ああわれら久居東中
2	布引山の影うつし 雲出の流れようよう 歴史の恵み礎に 誠の道を求めゆく ああわれら久居東中	



学校経営の改革方針

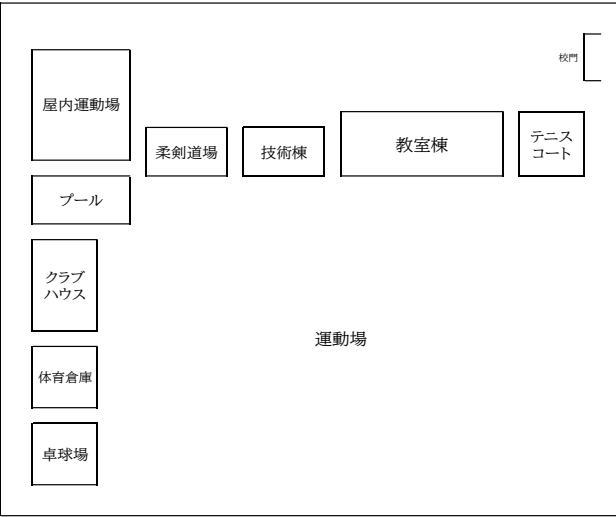
I めざす学校像	
【学校教育目標】	「自ら主体的に学び、行動する」 「ともに高め合い、鍛え合う」 「自他を大切にし、愛(いつく)しむ」 生徒の育成
◎ スローガン	「あいがあふれる学校」 ・明るく心のこもった挨拶のある学校 ・いじめをしない・させない、愛のある学校 ・地域に信頼され愛される、安心・安全な開かれた学校 を目指す
II 重点目標	
(1) 確かな学力と豊かな心、健やかに生きる身体を育成する学校づくり	
○ 生徒一人ひとりがめあてをもち主体的に学び行動する中で、自らの可能性を伸ばす教育活動を展開する。	
○ 校区内小学校との連携を密にし、児童・生徒の9年間を見通した小中一貫教育を進める。	
(2) 生徒の笑顔があふれる学校づくり	
○ 生徒一人ひとりの居場所を大切に、いじめを許さない、安心・安全な教育環境を提供する。	
○ 生徒一人ひとりを見つめ、主体的な活動を大切にし、自己肯定感を高める取組を推進する。	
(3) 地域に開かれ、信頼される学校づくり	
○ 学校運営協議会により地域と共にある学校づくりを推進する。	
○ 学校に対する地域の声を教育活動の検証と改善に活用する。	
○ 積極的な情報提供に努め、共通認識に基づく取組を推進する。	
(4) 教職員が働きがいのある(やりがいを持って教育活動に取り組む)学校づくり	
○ 教職員が対話と協調を重視し、意欲と情熱を持って教育活動に取り組む風土づくりに努める。	
○ 教職員が働きやすい職場環境づくりに努める。	
III 具体的な行動計画	
学習機会や学力の保障について、生徒同士の学び合いや実習・実験などリアルな体験を通じた学習、友人や先生と安全・安心につながるができる居場所、生徒・教職員の心身の健康を保障すること等、学校での教育活動のあり方について継続的に見直しをすすめ、工夫をしながら教育活動を実施したい。	
(1) 学習指導要領への的確な対応と学力の育成に向け、指導力・授業力の向上に努める。	
① 「主体的・対話的で深い学び」を提供できるよう、生徒が自ら課題を発見し課題解決できる教材の開発や学習活動の在り方を研究し、実践する。	
・ デジタル教科書やロイロノート・スクールを用い、一人一台タブレット端末の有効活用を図る。	
・ 教科、ICT活用等について、全教職員が参加する授業研究会を年3回以上実施する。	
・ 授業参観週間を年2回設定する。	
・ 授業アンケート(生徒)を年2回実施する。	
・ 全国学力学習状況調査等の分析をとおして、求められる学力の確認と授業実践の検証を行う。	
② 教育活動及び家庭学習の充実に向け、家庭と連携した取組を進める。	
・ 授業シラバスの効果的な活用とともに、「家庭学習強化週間」を年5回実施する。	
・ スタディサプリ等を活用して、家庭学習を習慣化・充実させる。	
・ 学校公開日を定期的に設定し、授業や学校行事への理解と共通認識を促進する。	
・ 各種通信(学校だより、学年通信、進路指導通信、図書館だより等)や学校ホームページを活用し、積極的に情報提供をする。	
③ 『東中タイム』の効果的な活用を図り、基礎学力の定着と読書活動を推進する。	
④ 校区内小学校、幼稚園等と連携し、小中一貫教育ネクスト事業を推進する。	
・ 出前授業や交流事業を実施する。	
・ 小中学校一斉のノーマディアデー(毎月1回)と家庭学習強化週間(学期1回)を実施する。	
(2) 全ての生徒の自己指導力を育む「積極的・予防的な生徒指導」を目指す。	

- ① 全生徒を対象に、教育相談週間(学期1回)を設定し、生徒理解を深める。
- ② 生徒指導委員会の定例化及び学年や分掌間の連携により、共通理解に基づく生徒指導を推進する。
- ③ 不登校傾向がある生徒や、課題を有する生徒について、職員間で共通理解を進めるとともに、校内教育支援センターへの登校指導・スクールカウンセラーや関係機関と連携した取組を推進する。
・不登校等の生徒に対し、校内教育支援センターでは学習指導、教室復帰に向けた支援を行う。
- ④ 保護者との連携を促進する。
・生徒の状況や時機に応じた家庭訪問を随時実施し、情報の共有と連携の強化に努める。
- (3) 特別の教科道德及び人権教育の充実を図る。
 - ① 豊かな人間性と実践力を育むための実践研究を行い、年度末にその成果を検証する。
・特別な教科道德の実践と検証に取り組む。
 - ・指導主事等を招聘した研修会や、校区の園校に授業公開する研究会等を年間3回以上開催する。
- ② 総合的な学習の時間や学級・学年活動、学校行事等において、達成感や自己肯定感を味わうことができる体験的活動を展開する。
- (4) 進路指導やキャリア教育の充実を図る。
 - ① 総合的な学習の時間等を効果的に利用し、計画的なキャリア教育と進路指導を推進する。
・進路指導通信を発行し情報提供に努める。
- ② 学習内容や生徒の意識・活動の様子を学校だより(ホームページ)、学年だより等で保護者に発信する。
- (5) 生徒会活動や部活動の充実・活性化に努める。
 - ① 地域の清掃活動や各種催し物への参加など、地域と連携したボランティア活動への参加を図る。
 - ② 主体的な活動の推進に向け、生徒会役員会議を各行事前に開催し趣旨等の意識化明確化を図る。
 - ③ 部活動における教育効果と、生徒の健康や家庭・地域での活動等を総合的に判断し、家庭とも連携しながら安全かつ効率的な活動を推進する。
- (6) 組織力の向上を図る。
 - ① 校内研修を月1回開催し、職員研修を計画的に進める。
 - ② 学年会、教科会、分掌会などを活用し、共通理解のもとに取組を進める。
 - ③ 全職員との面談(年2回以上)を実施し、教職員の思いを把握するとともに、一人ひとりが意欲とやりがいをもって教育活動を行うことができるように努める。
- (7) 学校運営協議会・学校評価により、教育活動の検証と改善を行う。
 - ① 学校運営協議会を年3回以上開催し、地域と共にある学校づくりを推進する。
 - ② 学校評価を年2回(7・12月:生徒・保護者アンケート、2月:自己評価及び学校関係者評価)実施し、継続的な改善を進める。
 - ③ 各担当からの提案に当たっては、年度末の反省(次年度への提言)を確認し計画を立案する。
- (8) 安全・安心な学校づくりに努める。
 - ① 危機管理意識の向上に関する研修を実施するとともに、避難訓練を年間3回実施する。
 - ② 教員による定期的な交通指導を年間20回実施する。
- (9) 教職員の勤務実態および職場環境の改善に努める。
 - ① 校務の見直しと業務の効率化を進め、総務部時間縮減に努める。
・月2回程度の定時退校日を設定する。(目標:定時退校できた職員の割合80%以上)
 - ・学年部会、教科部会、企画委員会等を効果的に活用し、職員会議の時間短縮を図る。(目標:放課後に開催して60分以内に終了した会議の割合80%以上)
 - ・1人あたりの時間外労働時間を月平均30時間以内、年間360時間以内を目指す。
 - ・1人あたりの時間外労働時間を前年度比マイナス10%にする。
- ② 部活動指導に関し、教職員のワークライフバランス、勤務状況や生徒の健康等、総合的な視点から、津市の指針が示す適切な活動時間(週2日の休業日でうち1日は土・日曜日を設定)とする。
- ③ 1人あたりの年間休暇取得日数を前年度比プラス2日にする。
- ④ OJT研修を積極的に実施し、若手をはじめとする教員の支援・育成を行う。
- ⑤ 整理・整頓・清潔を推進し、より良い職場環境づくりに努める。

学級編成一覧			
	男子	女子	組計
1-1	17	15	32
1-2	17	16	33
1-3	17	15	32
1-4	18	15	33
1-5	17	15	32
計	86	76	162
2-1	16	16	32
2-2	16	16	32
2-3	16	15	31
2-4	15	16	31
2-5	16	15	31
計	79	78	157
3-1	17	18	35
3-2	16	18	34
3-3	16	18	34
3-4	16	18	34
計	65	72	137
わかあゆ(知的)1	4	2	6
わかあゆ(知的)2	5	3	8
わかすぎ(自・情)1	4	1	5
わかすぎ(自・情)2	5	0	5
わかすぎ(自・情)3	5	1	6
わかたか(難聴)	1	1	2
総計	230	226	456

教職員組織一覧			
	男子	女子	計
校長	1		1
教頭	1		1
指導教諭、教諭	16	10	26
定数内臨時講師	4	1	5
臨時講師		2	2
非常勤講師	3	1	4
養護教諭		1	1
事務職員		1	1
支援員		2	2
技能員	1		1
用務員	1		1
図書館司書		1	1
スクールカウンセラー		1	1
ALT	1		1
教員支援員		1	1
SSS		1	1
総計	28	22	50

建物配置図



教育課程

	第1学年		第2学年		第3学年	
	年間授業数	週あたり授業数	年間授業数	週あたり授業数	年間授業数	週あたり授業数
国語	140	4	140	4	105	3
社会	105	3	105	3	140	4
数学	140	4	105	4	140	4
理科	105	3	140	3	140	4
音楽	45	1.3	35	1	35	1
美術	45	1.3	35	1	35	1
保健体育	105	3	105	3	105	3
技術・家庭	70	2	70	2	35	1
外国語	140	4	140	4	140	4
道德	35	1	35	1	35	1
特別活動	35	1	35	1	35	1
総合	50	1.4	70	2	70	2
総授業時数	1015	29	1015	29	1015	29

日課表

通常日課(50分授業)		時 限	短縮日課(45分授業)	
8:15～8:25		打ち合わせ	8:15～8:25	
8:25～8:30		短学活	8:25～8:30	
8:30～8:40		東中タイム	8:30～8:40	
8:50～9:40		1 限	8:50～9:35	
9:50～10:40		2 限	9:45～10:30	
10:50～11:40		3 限	10:40～11:25	
11:50～12:40		4 限	11:35～12:20	
12:40～13:10		昼 食	12:20～12:50	
水	月火木金		水	月火木金
13:10～13:25	13:10～13:25	休 憩	12:50～13:05	12:50～13:05
13:23	13:23	予 鈴	13:03	13:03
13:25～13:35	13:25～13:35	掃 除	13:05～13:15	13:05～13:15
13:45～14:35	13:45～14:35	5 限	13:25～14:10	13:25～14:10
	14:45～15:35	6 限		14:20～15:05
14:45～14:55	15:45～15:55	短学活	14:20～14:30	15:15～15:25

令和7年度

学校要覧



津市立久居東中学校

〒514-1114

三重県津市久居井戸山町 721-1

TEL 059-256-4068

FAX 059-255-1997

E-mail j2564068@res-edu.ed.jp

校舎配置図

